

野洲市では、平成21年度より「野洲市事業所環境保全推進事業」を推進しています。

この事業の一環として、市内事業所の環境担当者が、環境関連法令の制定・改正や環境管理の技術等を勉強されて、環境関連法令の遵守と事業所周辺の環境保全に積極的に取り組んでいただくことを目的に「環境研修会」の開催や、「環境メールマガジン」を年1回発行して、環境担当者のレベルアップに寄与できるよう努めています。

本号では、水道水のPFASに関する国の規制や、野洲市の現状について紹介します。

不明な点がございましたら、市役所環境課までお問い合わせください。

水道法 水質基準省令改正令和8年4月1日より施行 PFASに濃度規制 50ng(ナノグラム)/L (ナノグラムは10億分の1グラムです)

1. PFASとは

当該号では以下、PFOA及びPFOSをPFASと表記する場合があります。

環境省 2024年8月

PFOS・PFOA とは?

「有機フッ素化合物（PFAS）」の一種です

- 2000年代はじめごろまで、さまざまな工業で利用されました。私たちの身の回りの製品を作る際にも使われていました。
- 2009年以降、環境中での残留性や健康影響の懸念から、国際的に規制が進み、現在では、日本を含む多くの国で製造・輸入等が禁止されています。
- 日本国内でも、新たに作られることは原則ありませんが、分解されにくい性質があるため、今も環境中に残っています。

| 正式名称 と 主な用途 | |
|-------------|-------------------------------------------------|
| PFOS | ベルフルオロオクタンサルホン酸 (Perfluorooctane sulfonic acid) |
| 主な用途 | メッキ処理剤、消火薬剤 など |
| PFOA | ベルフルオロオクタン酸 (Perfluorooctanoic acid) |
| 主な用途 | 撥水剤、界面活性剤 など |

- ✓ 環境省や自治体が、河川等のPFOS・PFOA濃度を測定[※]公表しています。
※ 2009年より測定を実施
- ✓ 測定結果によると、環境中のPFOS・PFOAは、少しずつ減っています。

- 環境省では、2020年に水道水や環境中の水の目標値を定め、飲み水からの摂取を防ぐ取組を進めています。
- 2024年6月には、食品安全委員会が健康影響について包括的に評価を行い、その結果を公表しました。
- これを踏まえつつ、環境省では、安全・安心のための取組を引き続き進めます。

詳しい情報・最新の情報は [環境省 PFAS](#) で検索し、環境省HPをご覧ください

お住まいの地域の状況は、お住まいの都道府県等の水環境担当、地元の水道局等にお問い合わせください

ビーフォス・ビーフォア
PFOS・PFOA

暮らしの中の Q&A

“フッ素コーティング製品”に
使われている？

使われていません

PFOS・PFOA以外の
フッ素化合物が
使われています



フッ素コーティング
昔は、フライパン等の撥水・撥油加工に用いられるフッ素樹脂の製造の際にPFOAが使われていましたが、今は使われていません（注釈だけでなく、企業の自主的な取組により、使用廃止されました）

体に入ったらどうなる？

体外へ^{はいけつ}排泄されて徐々に減ります



水道の水は大丈夫？

水道事業者(自治体の水道局)等が
水道水中の目標値※を越えないよう
取り組みを進めています



※ 1 リットルあたり 50 ナグラム
毎日2リットルを一生飲み続けても
健康への悪影響が生じないと
考えられるレベル

目標値を超えた水を
飲んだけれど大丈夫？

まだ、わからないことが多いため、
PFOS・PFOAの健康への影響について
調査や研究が進められています

目標値を超えていた地域の健康調査に
おいて、他の地域との明らかな傾向の
違いは出ていません
また、飲料水による個人の健康被害は
国内で確認されていません



水だけじゃなくて、食べ物は？ 普通に生活していて大丈夫？

食品の安全性を科学的に評価する国の機関である食品安全委員会は、
「通常の一般的な食生活では、著しい健康影響が生じる状況にはない」と評価しています
「現時点の情報は不足しているものの、通常の一般的な国民の食生活(飲水を含む)から食品を通じて摂取される
程度のPFOS及びPFOAによっては、著しい健康影響が生じる状況にはないものと考える」(2024年6月)

詳しい情報・最新の情報は **環境省 PFAS** で検索し、環境省HPをご覧ください

お住まいの地域の状況は、お住まいの都道府県等の水環境担当、地元の水道局等にお問い合わせください

PFAS に関するハンドブックは環境省の下記 URL を参照してください。

[000305650.pdf](https://www.000305650.pdf)

水道水中の PFAS 濃度について令和 8 年 4 月 1 日から規制がかかります。

規制値: 0.00005mg/L (50ng/L)

公共用水域、地下水の指針値も同値です。

2. 野洲市の水道水検査結果

野洲市では定期的に水道水の検査を行っています。
PFAS については、年一回濃度をチェックしています。

水質検査結果

更新日：2025 年 08 月 14 日

水質検査計画に基づく水質検査を行いましたので、その結果をご覧ください。

検査は、水道法第 20 条の厚生労働大臣登録水質検査機関に依頼して実施しています。

なお、野洲市の水道水は、全ての水質基準を満たしており、問題なく使用していただけます。

検査結果の詳細は、下記の PDF ファイルをご覧ください。

また、水道水（各給水栓口及び原水）における有機フッ素化合物（PFOS 及び PFOA）の検出状況は「水質管理目標項目」に掲載しており、暫定目標値を下回っていることを確認しています。

水質検査の結果は次の URL で検索できます。

[水質検査結果／野洲市](#)

令和 7 年度の「PFAS」の水質調査結果について

(調査は PFOS 及び PFOA)

2025 年 12 月 23 日

今般、令和 7 年度公共用水域水質測定計画に基づき、琵琶湖 8 地点および 6 河川で実施した有機フッ素化合物「PFOS 及び PFOA」の調査の結果、全ての地点で指針値（50ng/L）の超過はありませんでした。詳細は別紙のとおりでしたので、お知らせします。

県は、5 年で一巡するローテーション調査において、35ng/L を超過したら翌年度も調査を実施して監視を続けるという県独自の判断基準で調査を行っています。

野洲市内の河川では、

野洲川、日野川、家棟川いずれも基準値以内

直近の調査では： 令和 7 年 野洲川 測定値：9 ng/L

令和 4 年 日野川 測定値：11ng/L

令和 6 年 家棟川 測定値：15ng/L

県内の河川の測定結果は下記に示されています。

[令和 7 年度の「PFOS 及び PFOA」の水質調査結果について | 滋賀県ホームページ](#)